

重点課題

当面する重点課題は、3つあります。

1 安全・安心の都市づくり

自衛隊は、隊員とその家族約2万2千人が居住する市にとって、地域経済をはじめ、地域の安定、災害への対応など、影響が大変大きいものがあります。
そこで、自衛隊と共存共栄するまちづくりを目指します。また、子どもを犯罪から守るため、地域全体で見守る体制づくりを進めるなど、市民の皆さんが安全で安心した暮らしができるよう努めます。

2 財政の情報公開と健全化の推進

千歳の未来を確かなものにし、足腰の強いまちづくりを進めるため、昨年度に引き続き、財政健全化に取り組み、魅力と活力があふれるまちづくりを目指します。

3 中心市街地活性化の推進

また、市民の皆さんに市の財政状況をもっと身近に知っていただき、一緒に考えていただけるよう、引き続き、わかりやすい形での情報公開に努めます。

重点施策

老朽化が著しいニューサンロードのアーケードの撤去にかかわる支援や空き店舗対策事業などに取り組みます。また、中心市街地における多様な居住ニーズに対応したにぎわいのある団地形成を目指し、中心市街地の活性化を推進します。

千歳市は、多種多様な「特性・優位性・可能性」を持つまちです。

これらの特徴を活かし、まちづくりを進めるために、5分野からなる重点施策を掲げ、「人育て・市民協働により活力が循環する都市づくり」を推進します。

特集

平成18年度のまちづくり

～市政執行方針と予算～



新年度が始まりました。この新しい1年間、市民の皆さんにとって住みやすいまちづくりをどのように進めるのか、山口市長は、3月の第1回定例市議会において、市政執行方針として説明し、その実現に必要な予算（お金）が議会で決まりました。今月は、その市政執行方針と予算のあらましについてお知らせします。

基本姿勢

市政を進める上での基本姿勢は、3つあります。

1 市民主体、市民協働の都市経営の推進

少子高齢社会の進行など、社会状況が大きく変化する中、市民の皆さんの生活意識や価値観は多様化し、地域生活における行政サービスの提供や市民活動などのあり方が課題になっていきます。

この課題に対応するために、財源の面からも手法の面からも、行政のみがその先頭に立つて取り組むには、限界があります。

そのため、これからは、市民の皆さんが持つ「知力」や「能力」といった「市民力」を発揮していただくことが必要となります。

そこで、市民の皆さんとともに課題に取り組み、協力しながら市政を進める「市民主体、市民協働の都市経営」を推進します。

2 公平・公正、開かれた市政の推進

市民の皆さんの立場に立つ「公平・公正な市政」の推進、情報公開や資産公開などによる「市政の透明化」を基本に始めていきます。

このため、「市長の出前講座」や市のホームページなどを通じて、市政の現状や課題をはじめ、市民の皆さんに理解や協力をいただく内容について、積極的に公開します。

また、「市長相談日」や「市政懇談会」、「市長への手紙・ポスト」などを通じて市民の皆さんの声を市政に反映するとともに、「広報ちとせ」の充実を図るなど「開かれた市政」を推進します。

3 21☆千歳きらめきプランの推進

新長期総合計画「21☆千歳きらめきプラン」は、平成13年度から平成22年度までの10年間の長期的なまちづくりの指針となるものです。

そこで、「21☆千歳きらめきプラン」の後半5か年の着実な推進を目指し、市が持つ特性や資源などを有効に活かしながら、将来都市像の実現を目指します。

資産	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広大な自然（国立公園支笏湖、清流千歳川など） ・ 国内の基幹空港（新千歳空港） ・ 北方の防衛拠点（陸上・航空自衛隊）
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流都市・国際観光拠点都市（市外から多くの方が来訪） ・ 交通拠点都市（空港・鉄道・道路による充実した交通ネットワーク） ・ 工業集積都市（道都札幌市に隣接する立地条件・特色のある工業団地） ・ 学術研究都市（千歳科学技術大学・産学官共同研究システム）
産業特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港や自衛隊などに支えられ、すそ野が広い多彩な商業・サービス産業 ・ てん菜、牛乳、鶏卵、肉用牛、トマトなどの多様な農業 ・ 飲料、半導体、医薬品製造などの多様な企業が立地する工業
市民特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口構成比が若い（若い世代の割合が高い） ・ 給与所得者の割合が高く、転出・転入が多い ・ 全国各地から転入する市民による多種多様な生活文化の交流がある

まちの特徴を活かし、重点施策を位置づける

施策のキーワード



重点施策
(詳細は、4ページ)

重点施策を中心に、目指すまちづくりを進める

人育て・市民協働により活力が循環する都市づくり

1 子育て・教育

安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることで育える環境を整備します。

また、次代を担う子どもの豊かな個性と生きる力を育み、地域ぐるみで子どもを健やかに安心して育てられる環境を整備します。

このため、「母子保健事業」をはじめ、「子育て支援施設整備事業」、「仕事と家庭の両立推進事業」や「教育活性化事業」を実施します。



【高齢者福祉】

介護の総合相談・支援などの拠点として、「地域包括支援センター」を新たに設置します。

【障害者福祉】

「障害者自立支援法」が始まり、福祉サービス制度が改正されることから、関係機関との連携を図りながら、障害のある方の地域生活での自立支援に努めます。

【児童福祉】

地域全体で子育てを応援する拠点施設として、「(仮称)子育て総合支援センター」の整備に向け、実施設計を行います。

また、保護者の疾病などにより、家庭において子どもの養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設において児童を短期間預かる「子育て短期支援事業(シヨートステイ事業)」を実施します。

【母子福祉】

母子家庭の自立支援を図るため、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金、常用雇用転換奨励給付金の支給事業を実施します。

2 防災対策

地震、火山の噴火、航空機事故などの災害から市民の皆さんの生命・生活・安全を守るため、市に所在する自衛隊と連携し、緊急時における協力体制の充実に努めます。

また、学校や公共施設などの重要な施設について、耐震性の確保に努めるとともに、防災資機材の備蓄の充実と市民の皆さんの防災意識の高揚を図ります。

このため、「公共施設耐震化事業」や「防災拠点整備事業」に加え、新たに都市経営会議からの提言に基づく市民協働のモデル事業として「市民協働防災事業」を実施します。

3 人材の育成

生涯学習などの市民活動や市民協働のまちづくりを推進し、豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、市民の皆さんの自主的な活動や交流を支援します。

2 安全で人と地球にやさしい都市づくり

【公害の発生防止】

大気、水、騒音などの環境の常時監視と発生源に対する規制、指導に努めます。

【廃棄物行政】

市民、事業者、行政の連携と協働体制を構築し、発生抑制、再利用、再生利用や適正処理の推進を図ります。

また、5月から実施する家庭ごみの有料化により、ごみの減量化・リサイクルに努めます。

さらに、適正ごみ処理推進員制度を導入するなど、不法投棄と不適正排出への対応を強化します。

【公園整備】

街区公園の計画的な整備を行います。また、勇舞公園と大和近隣公園の整備を継続して実施します。

【防災】

自主防災組織の結成支援や育成の継続的な取組を進めます。

【消防】

災害現場での負傷者救出活動などに必要な空気呼吸器を計画的に更新します。

4 企業誘致

また、市民活動を高め、市民の皆さんのネットワークにより、学びあい、教えあう人材の活用と育成を図ります。このため、「市民活動支援事業」を実施します。

雇用の創出による活力と魅力あふれる地域社会の実現を目指します。

また、製造業をはじめ光関連産業や研究開発型産業などを基本に企業誘致を進めます。

さらに、モノづくり産業など多様な分野にわたる企業の立地を推進します。

このため、「匠の技集積事業」をはじめ、「初期投資軽減事業」や「立地環境PR活動推進事業」に加え、新たに「立地企業フオロアップ事業」を実施します。

5 観光振興

国内はもとより、東南アジアを中心とした国外からの観光客の誘致を目指します。



また、「観光都市」として、観光資源の整備や観光客の周遊化・通年観光の推進や情報発信機能の強化など、総合的・広域的な観光振興体制の確立を目指します。

さらに、観光資源としてのヒメマスの確保を図り、地域経済の振興に努めます。

このため、「支笏湖地区活性化推進事業」をはじめ、「にぎわいトライアングル事業」や「農村観光振興事業」、「観光PR活動推進事業」に加え、新たに「ヒメマス観光資源化促進事業」を実施します。

主要な施策

新長期総合計画「21☆千歳きらめきプラン」の5つの都市づくりの目標に沿って、主要な施策を説明します。

1 心がよい幸せ感じる都市づくり

【保健予防対策】
地域に根ざした健康づくり事業を展開するため、市民の皆さんに健康づくりボランティアとして活躍していただく「ヘルスコンダクター養成事業」を実施します。

【医療】
市民病院の医療環境と診療体制の充実を図ります。また、市民病院の「地域医療連携室」の機能を充実させ、地域医療機関との連携を強化します。

さらに、市民病院の「病院機能評価」について、平成18年度に認証取得を目指します。

【地域福祉】
保健福祉サービス提供事業者に対する市民の皆さんの信頼性を高めるため、第三者機関として、「千歳市保健福祉オンブズマン」を設置します。

【学校の耐震対策】

平成17年度に耐震診断を実施した高台小学校と青葉中学校の耐震補強設計とともに、新たに日の出小学校と信濃小学校の耐震診断を実施します。

【教育用コンピュータの整備】

中学校7校のコンピュータ機器を更新します。

【教育機会の拡充】

奨学金の交付予定人数の拡大を図るとともに、高等学校、大学などと同等の専修学校を新たに対象とします。

【スポーツの振興】

向陽台公園庭球場コートと向陽台水泳プール上屋などを改修します。また、硬式野球に対応するため、市民球場改修調査を実施します。

3 学びあい心ふれあう都市づくり

【生涯学習】

市民の皆さんの自主的な活動や交流などの拠点として「市民活動交流センター」を開設します。

また、ひとづくり・まちづくりのリーダー的役割を担う人材の育成に努めます。

【教育環境の整備】

支笏湖小学校、駒里小中学校の2校の大規模改修を行います。



【救急業務】

公共施設などへの自動体外式除細動器(AED)の計画的な設置を進めます。

【水道事業・公共下水道事業】

浄水施設や配水管を計画的に更新します。

また、耐塩素性原虫対策として、ろ過設備を改良します。

さらに、水道料金と下水道使用料の納入について、納入窓口の拡大を図ります。

【汚泥処理システムの安定化】

平成19年度の供用開始を目指し、スラッジセンターの第2系列の施設を整備します。



主要な事業の予算

3 学びあい心ふれあう都市づくり

●市民活動交流センター管理運営業務経費	1,518万2千円
●「千歳市の教育を考える市民会議」設置事業費	135万円
●小・中学校耐震化改修事業費	1,107万2千円
・特殊学校等就学者支援事業費	861万円
・図書館費	5,678万6千円
・体育振興費	5億4,466万2千円
・市民文化センター費	2億1,008万8千円
・青少年対策費	1億6,396万5千円

4 魅力と活力あふれる都市づくり

・バス路線確保対策補助事業費	3,725万1千円
・C経路整備事業費	7億4,930万円
・道路橋梁整備事業費	4億7,120万円
・農業振興費	1億9,634万円
・土地改良費	3億3,833万4千円
・商工振興費	9億5,061万2千円
・産業活動促進事業費	1,266万9千円
・観光費	8,712万7千円
・労働諸費	3,173万6千円

5 参加と連携による都市づくり

・市民協働推進業務経費	140万円
・人事評価システム導入経費	294万円
・行政評価システム導入事業費	84万円
・第4次行政改革推進事業費	33万5千円
・広報・広聴費	6,514万9千円

※主な事業を、「21☆千歳きらめきプラン」の5つの都市づくりの目標に沿って分けています。
※大きな白丸のついている事業は、重点施策となっていることを意味します。

1 心がかよい幸せ感じる都市づくり

・予防接種推進事業費	6,395万3千円
・医療体制整備事業費	7,963万2千円
・AED（自動体外式除細動器）購入費	598万5千円
・市民健康診査事業費	5,443万7千円
・老人・乳幼児等医療助成費	6億4,526万4千円
・高齢者・障害者福祉サービス利用券助成事業費	7,643万9千円
・身体障害者日常生活支援事業費	8,033万3千円
・児童手当・児童扶養手当給付事業費	8億6,971万7千円

●母子家庭自立支援給付金事業費	353万6千円
●地域子育てサロン事業費	77万円
●子育て短期支援事業費	38万9千円
●（仮称）子育て総合支援センター整備事業費	2,594万円
・生活保護事業費	15億9,703万9千円
・消費生活費	1億920万9千円
・コミュニティセンター費	8,812万6千円

2 安全で人と地球にやさしい都市づくり

・家庭ごみ有料事業費	5,046万2千円
・最終処分場整備事業費	1億9,100万円
・公園緑地整備事業費	8億5,820万円
・児童生徒安全対策事業費	331万7千円
●自主防災組織育成事業費	929万3千円
・基地周辺共同受信施設設置事業費	6,300万円
・公営住宅建替事業費	10億7,830万円
・高齢者優良賃貸住宅家賃補助事業費	1,195万2千円

国や地方を取り巻く厳しい財政環境の中、市は、地方分権時代に対応した、自主・自立のまちづくりが必要です。このような状況の中、市はこのまちが持つ「特性・優位性・可能性」を最大限に活かす、「活力が循環する都市づくり」を進めます。

また、各分野で市民の皆さんと課題や作業を共有し、協力しながら市政を進める「市民主体・市民協働の都市経営」の確立に取り組みます。

これらのことは、「ふるさと千歳」の発展とかけがえのない子どもたちの未来のためでもあります。

新たに始まった1年間、千歳の未来を確かなものにするためのまちづくりは、すでに始まっています。

記事の詳細

【市政執行方針について】

企画部企画課企画調整係

☎(24)0439

【予算について】

総務部財政課財政係

☎(24)0541

4

魅力と活力あふれる都市づくり

【道路整備】
南26号道路などの幹線道路や生活道路の整備を計画的に進めます。

また、C経路の整備について、祝梅根志越線の第2祝梅橋の架け替え工事などを実施します。

【農林業の振興】
新規就農者、就農希望者への支援、女性農業者の経営参画の促進、クリーン農業の推進など、農業経営体質の強化・改善に努めます。

【工業の振興】
高度な技術力を持つ企業の集積を図る「匠の技集積事業」をはじめ、工業団地のリースや市内空き工場の活用などを図る「初期投資軽減事業」を実施します。

また、市の優れた特性を全国の企業にアピールするための「立地環境PR活動推進事業」をより一層強化します。

さらに、新たに立地企業からの相談などに対応するための「立地企業フォローアップ事業」を実施します。

【中心市街地の活性化】
「千歳タウンプラザ」1階の一部を継続して借り上げ、

5

参加と連携による都市づくり

商業テナントの誘致を行い、来客数の増加を促します。

また、ニューサンロードのアーケードについて、撤去にかかわる支援を行います。

さらに、空き店舗利用促進事業について、引き続き支援を行います。

【観光の振興】
「観光振興アクションプラン」に基づき、観光連盟や観光事業者などとともに、観光客の受け入れ体制の整備などに努めます。

また、ヒメマスの保護対策について、ふ化放流事業の円滑な実施とともに、釣りマナーの徹底を図ります。

【市民協働の都市経営】
都市経営会議からの提言を踏まえ、市民の皆さんの権利を明確にし、活動をサポートするための基礎となる「市民協働推進条例」の制定を目指します。

【行政改革の推進】
第4次行政改革を推進し、スポーツセンターなど、19の公の施設を「指定管理者制度」により管理運営するとともに、民間活力の導入などにより経費の削減や市民サービスの向上に努めます。

予算

【行政評価の推進】
全事業を対象とした事務事業評価の継続と改善を推進するとともに、行政資源の有効配分が可能となる施策評価の導入に努めます。

一般会計は昨年度に比べ、121億6,956万5千円、率にして35.2%の大幅な増となっておりますが、これは土地開発公社の経営健全化のため、公社へ低利貸付したこ

とによりです。

この貸付金は、今年度内に一般会計の特定財源として全額返済されます。

このため、今年度の特定財源額が昨年度に比べ大幅に膨らんでいます。

この公社への貸付金を除いた予算額を昨年度と比べると、一般会計では2.5%、全会計合計では1.7%の増に留まります。

今年度の予算は、「安心」と「活力」の2つを柱に、重点施策を推進し、千歳らしいまちづくりを目指す、「元気な子供・育み予算」として組みました。

会計別の予算

一般会計	467億5,591万5千円 (345億8,635万0千円)
6 特別会計 (7 特別会計)	172億9,908万2千円 176億1,544万2千円
・国民健康保険	75億6,535万6千円
・土地取得事業	1,067万4千円
・公設地方卸売市場事業	4,456万8千円
・老人保健	67億5,069万2千円
・霊園事業	6,809万5千円
・介護保険	28億5,969万7千円
3 企業会計	139億3,587万4千円 (133億6,728万3千円)
・水道事業	27億5,387万9千円
・下水道事業	49億8,394万6千円
・病院事業	61億9,804万9千円
合計	779億9,087万1千円 (655億6,907万5千円)

※（ ）内は、平成17年度の数値です。

一般会計の歳入内訳

一般財源	233億6,850万3千円 (228億0,945万0千円)
特定財源	233億8,741万2千円 (117億7,690万0千円)
歳入合計	467億5,591万5千円 (345億8,635万0千円)

※「一般財源」とは、市税など、市が使いみちを自由に決められるお金です。
※「特定財源」とは、国道支出金など、使いみちが決められているお金です。

※（ ）内は、平成17年度の数値です。